

令和2年  
3月1日号  
広報  
No.639

# あきる野

## 今号の主な記事

- ・地域子ども育成リーダー提案事業「親子で楽しむピアノ&マリンバ(木琴)コンサート」…6面
- ・あきる野市 東京2020オリンピック聖火リレー運営ボランティア募集…8面



山抱きの大カシ (深沢)

自然豊かな  
ふるさとあきる野に  
いつまでも  
住み続けるために

## 令和2年度施政方針

令和2年あきる野市議会第1回定例会3月定例会議において、村木英幸市長が発表した施政方針の内容をお知らせします(原文を基に掲載)。

令和2年あきる野市議会第1回定例会3月定例会議の開催に当たり、令和2年度の市政運営の基本方針に関する所信の一端を申し述べさせていただきます。

昨年10月に襲来した台風19号は、本市に大きな被害をもたらしました。被災された方をはじめ、市民の皆様が一日も早く通常の生活に戻るよう、市いたしましたとしても、被災者支援と災害復旧に全力を挙げて取り組んでいるところであります。

被災された方々に対しましては、災害救助法に基づく制度等に加え、市独自の復旧支援策を講じて、更なる支援に努めてまいります。また、被災した道路や橋りょう、林道、観光ルート

の早期復旧に取り組むとともに、雨漏りが生じた秋川体育館・中央公民館、五日市ファインプラザなどの修繕を進めてまいります。さらに、利用不能となっている小和田グラウンド、秋川橋河川公園などにつきましては、国や都の補助制度を活用しながら、関係団体との連携の下、再開に向け、尽力してまいります。

このような自然災害に備えるため、浸水被害があった留原の中村地区につきましては、排水ポンプの増設などを実施してまいります。また、避難所としても使用される小・中学校体育館へのエアコン設置につきましては、令和2年度は中学校において、令和3年度は小学校において、それぞれ設置工事を進めてまいります。

令和3年度は小学校において、それぞれ設置工事を進めてまいります。

### 人口減少に対する取組

国の推計によりますと、昨年生まれた子どもの数は、過去最少の86万4千人とのことであります。ますます進む少子化に歯止めをかけるには、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援の更なる充実を図り、安心して働き、子育てができる環境を整え、誰もが活躍できる社会を実現することが重要であります。

こうしたことを踏まえ、令和元年10月から開始した産後ケア事業につきましては、既存の宿泊型に加え、新たに通所型と訪問型を実施してまいります。

また、「秋川流域病児・病後児保育事業」「乳幼児一時預かり事業」「子育てひろば」などにつきましましては、大変多くの方にご利用いただき、高い評価を得ておりますので、今後も事業等の周知に努めてまいります。乳幼児期の教育・保育につきましましては、無償化の対象外とされた幼稚園類似施設を利用する保護者への更なる支援に取り組むとともに、認証保育所を利用する保護者への保育料の補助を拡充し、子育て家庭への支援の充実を図ってまいります。さらに、0歳から2歳児の保育料につきましましては、令和3年度からの引き下げに向け、「子ども・

子育て会議」に諮問するなど、準備を進めてまいります。また、保育士の確保・定着につきましても、宿舍借上げへの支援を継続して実施し、保育事業者を支援してまいります。

児童館等につきましては、児童館・児童クラブの遊戯室にエアコンを設置し、育成環境の充実を図ってまいります。また、児童クラブの待機児童解消に向け、若葉児童クラブの施設の拡充に着手するとともに、指導員の確保策として、運営の委託化を検討してまいります。

児童・生徒の基礎学力の向上や家庭学習の習慣付けを促す学習支援事業につきましては、新たに生活支援を含めた方策について検討を進めてまいります。現在、大きな社会問題となっている児童虐待への対策につきましましては、虐待防止と事案への対応の強化を図るため、関係機関との連携を深めるとともに、専門性を有する人材の育成に取り組んでまいります。

子育て世代をはじめ、市民の皆様が将来にわたって本市で安心して暮らすためには、生活の足となる公共交通の充実が必要不可欠であります。このため、公共交通空白地域の解消に向けて、令和元年度に引き続き、ライダー交通の実証実験を進めてまいります。また、基幹交通の利便性向上を図るため、車両の増台など、「るのバス」を増強した場合の効果を検証する実証実験の準備を進めてまいります。

### 福祉の充実について

本市が持続的に発展していくためには、誰もが自立した生活

### 2面につづく